AM/FMラジオ(2スピーカー、デジタル時計組込み、Bluetooth®対応、USB接続、外部入力端子)*

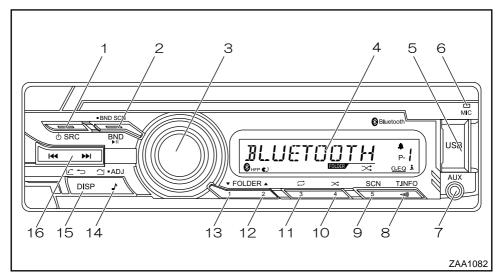
特長

- AM/FM 電子チューナーラジオ、アラーム機能付き
- USB スロット搭載で、MP3/WMA オーディオファイルを再生
- Bluetooth® 接続によるオーディオ再生,ハンズフリー通話対応

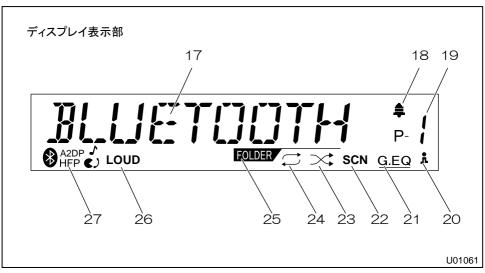
₽ アドバイス

本機のUSB スロットでは、携帯電話などの充電をすることはできません。

各部の名称



記号	名称/シンボル	機能
1	[SRC]	電源ON/OFF, モードの切替
2	[DND]	ラジオのバンド切替,バンドスキャン,音楽再
	[BND]	生/ポーズ
3		ボリューム調整, 各種設定の選択/決定,
3	[ロータリーノブ]	ミュート
4	ディスプレイ	ディスプレイ切替,戻る
5	USBスロット	USB機器接続
6	MIC	ハンズフリー通話マイク
7	AUX	AUX入力
8	[-===])]	交通情報選局
9	[5]	プリセットP.5, スキャン
10	[4]	プリセットP.4,ランダム再生
11	[3]	プリセットP.3, リピート再生
12	[2]	プリセットP.2,フォルダーアップ
13	[1]	プリセットP.1,フォルダーダウン
14	[🖍]	オーディオ各種調整、電話終了
15	[DISP]	ディスプレイ変更,電話応答,リターン
16	[I◀4] [▶▶1]	サーチ



記号	シンボル	表示内容	
17	-	選択中・実行中機能表示(英数字10ケタ)	
18	#	アラーム設定中表示	
19	P-	実行中プリセット番号表示	
20	Ļ	インテリジェントチューンON表示	
21	<u>G.EQ</u>	グラフィックイコライザーON表示	
22	SCN	スキャン実行中表示	
23	\Rightarrow	ランダム再生実行中表示	
24	\updownarrow	リピート再生実行中表示	
25	FOLDER	選択フォルダ内のランダム/リピート再生	
26	LOUD	ラウドネスON	
27	S A2DP √	Bluetooth®接続中	
		A2DP:Bluetooth®オーディオ機器接続中	
		HFP:ハンズフリー対応携帯電話接続中	

1. ご使用の前に

⚠ 警告

運転者は走行中に操作をしないでください。走行中に操作すると、わき見運転や前方 不注意になり事故などにつながるおそれがあります。車を停車させてから操作してく ださい。

₽ アドバイス

故障の原因になりますので、各ボタンは強く押しすぎないでください。また表示部(液晶)には触れないでください。

図 知識

点検や整備でバッテリーを取外すと,各種設定したメモリーは消去されます。もう一度設定し直してください。

2. 電源 ON /OFF するには

電源 ON

スタータースイッチが "ACC" または "ON" 位置のときに [SRC] ボタンを押します。

● 雷源 OFF

[SRC] ボタンを約1秒長押しします。

図 知識

スタータースイッチが "ACC" または "ON" 位置のときは、本機のどのボタンでも電源 ON することができます。

11-12 オーディオの取扱い

3. モード表示と切り替え

ディスプレイ表示部には前回電源切時に使っていたモードが表示され,約5秒後に時刻表示になります。ディスプレイ表示部に表示されるモードが現在選択・実行可能なモードです。

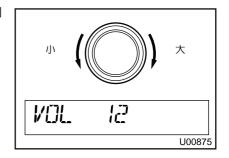
● モード切り替えには [SRC] ボタンを押します。押すたびに、モードが切り替わります。

ディスプレイ表示	利用できる機能
TUNER	AM/FMラジオ
(USB)	USBに記録された音楽ファイル再生(USB機器接続時のみ表示)
BT-AUDIO	Bluetooth®オーディオ機器に記録された音楽ファイル再生 (Bluetooth®接続時のみ再生可能)
(BT-TEL)	ハンズフリー通話(携帯電話がBluetooth®接続している時のみ表示)
AUX	AUX入力

4. 音量,音質を調整するとき

4.1 音量を調整するとき

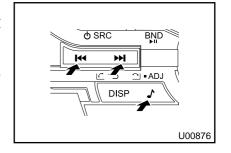
- [ロータリーノブ] で調整します。ノブを右に回すと音量が大きく、左に回すと小さくなります。
- 音量を 0 ~ 4 0 の範囲で調節できます。



4.2 音質、バランスを調整するとき

[♪]ボタン, [I◄], [▶I]ボタン, [ロータリーノブ] を操作することにより音質, 前後音量バランス, 左右音量バランスを調整することができます。

- ①[♪]ボタンを押して音質調整モードに入ります。
- ②[◄], [▶]ボタンを押して調整したいモードを 選択します。



モードの切り替わり

(BASS) → (TREB) → BAL → FAD → INTEL-TUNE → LOUD → (G-EQ) システム設定 (アジャストモード) の EQ SELECT 設定によりモードがスキップします。

- G-EQ 設定時: BASS, TREB がスキップします。
- BASS/TREBLE 設定時: G-EQ がスキップします。1 秒間操作しないときは、調整前の表示に自動的に切り替わります。
- ③調整したいモードで[ロータリーノブ]を回し調整します。
- ④調整できたら[♪]ボタンを押して、モード選択に戻ります。

● 機能表示

モード	調整内容	調整方法
BASS	低音(BASS)の調整	[ロータリーノブ]を左右に回し
	調整範囲:−15 ~ +15	ます。
TRFB	高音(TREBLE)の調整	[ロータリーノブ]を左右に回し
INED	調整範囲:−15 ~ +15	ます。
BAI	左右バランス(BALANCE)の調整	[ロータリーノブ]を左右に回し
DAL	調整範囲: L7 ~ R7	ます。
FAD	前後バランス(FADER)の調整	[ロータリーノブ]を左右に回し
	調整範囲:R7~F7	ます。

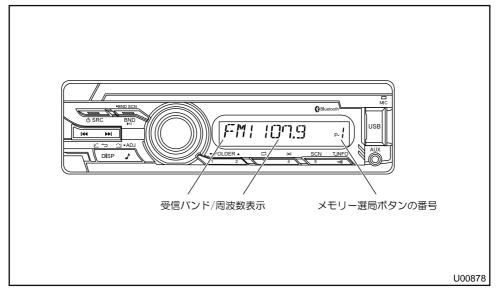
11-14 オーディオの取扱い

モード	調整内容	調整方法
INTEL- TUNE	インテリジェントチューンの調整 (特殊な音質調整)	
	S-RESTORER: 圧縮オーディオを 原音の音質に近づける	[ロータリーノブ]を押します。 [I◀], [➡]ボタンを押して, 効果 を出したい機能を選びます。 [ロータリーノブ]を左右に回し
	V-BASS:迫力ある重低音を放つ	設定値を変更します。「OFF/ LOW/MID/HIGH」
	D-BEAT:音源のメリハリ感が再現 され、迫力あるビートが楽しめる	
LOUD	ラウドネスのON/OFF	ON: [ロータリーノブ]を右に 回します。 OFF: [ロータリーノブ]を左に 回します。
	グラフィックイコライザーの調整	● [ロータリーノブ] を押します。
G-EQ	OFF: フラット	● [ロータリーノブ]を左右に回し 音質を選択します。
	(CUSTOM:カスタム)	USER1~3にお好みの音質を 設定できます。
	BASS-BOOST: 低音を強調	①[ロータリーノブ]を押します。 ②[I◀]. [►N]ボタンを押して調整
	HIGH-BOOST:中音と高音を強調	したい周波数を選びます。 ③[ロータリーノブ]を回して調整
	VOCAL:中音を強調	します。 ④[1] ~ [3] のいずれかのボタン
	IMPACT:低音と高音を強調	を長押しして, USER 1~3に 記憶させます。(記憶しなかった
	NATURAL:落ち着いてしっとりし た	時は, 一時的に CUSTOM に保 存されます。)
	USER1→USER2→USER3	

図 知識

リヤスピーカー未装着車は、前後音量バランス機能(FADER)でリヤスピーカーの出力を高めていくと、スピーカーの音がだんだん小さくなります。リヤスピーカー未装着車は前後音量バランス(FADER)を中間点もしくは前寄りの位置にしてください。

5. ラジオを聞くとき



5.1 ラジオ周波数帯 (バンド) の切り替え

- [SRC] ボタンを押して TUNER を選びます。
- [BND] ボタンを押すたびにバンドが切り替わります。
 FM1 → FM2 → FM3 → AM1 → AM2

5.2 受信感度を選択する

受信感度を切り替えると受信状況が良い放送局を聞くことができます。

- [♪]ボタンを長押しします。
- [I◄]. [►I]ボタンを押し DX/LO を選択します。
- [ロータリーノブ] を左右に回して、DX または LOCAL を選択します。
- 選択が完了したら、[DISP] ボタンを2回押して設定を終了します。

DX:電波の強弱に関係なく放送局を受信します。 LOCAL:電波の強い放送局のみ受信します。

5.3 自動で選局するとき

[I◀], [▶I]ボタンを長押しします。

受信状態が良い周波数で止まります。

[▶]: 周波数の高い方を選局するとき[★]: 周波数の低い方を選局するとき

5.4 手動選局する

● [Ⅰ◀]. [▶Ⅰ]ボタンを押し周波数を調整します。

[▶]: 周波数の高い方を選局するとき
[▶]: 周波数の低い方を選局するとき

知 知識

長押しすると自動選局となりますので、手動選局は短くボタンを押します。

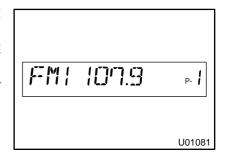
5.5 プリセット選局する

あらかじめメモリーしてある放送局を選局することができます。

●[1]~[5]のいずれかのボタンを押して選局します。

5.6 プリセットメモリの登録(手動)

- [BND]ボタンを押して登録したいバンドを選択 します。
- [I◀], [▶I]ボタンでメモリーしたい放送局を選 局します。
- メモリーさせたい[1]~[5]のボタンを長押しし 登録します。登録されるとディスプレイ右側に プリセット番号が表示されます。(例 P.1 のよ うに表示されます。)



5.7 プリセットメモリの登録(自動)

- [BND] ボタンを押して登録したいバンドを選択します。
- [♪]ボタンを長押しし AUTO STORE を表示します。
- [ロータリーノブ] を長押しします。自動的に受信感度の良い放送局が[1]~[5]のボタンに登録されていきます。

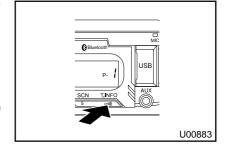
5.8 バンドスキャン機能

受信感度の良い放送局を周波数順に受信しながら、各局を7秒ずつ聞くことができます。

- [BND] ボタンを押して聞きたいバンドを選択します。
- [BND] ボタンを長押しします。

5.9 交通情報を聞くとき

- [I◀], [▶I]ボタンを押すと 1620kHz と 1629kHz を切り替えられます。
- [·**川**] ボタンを再度押すと,元のモードに戻ります。



6. USB 機器に記録された音楽ファイルを聞くとき

「USB マスストレージクラス」に準拠した記憶装置を備えた機器に保存されている MP3/WMA ファイルを再生することができます。

₽ アドバイス

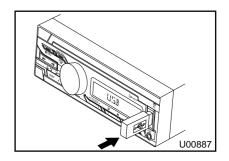
記録されているデータを消失してしまったときのために、貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップをとっておいてください。

図 知識

- MP3 (MPEG Audio LAYER3) は、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
- WMA(Windows Media[®]Audio)は、Microsoft Corporationの音声圧縮フォーマットです。
- 本機がサポートしているファイルシステムはFAT12、FAT16、FAT32です。

6.1 USB 機器を接続するときは

- ①USB スロットカバーを開けます。
- ②USB スロットに USB 機器を接続します。



☞ アドバイス

- USB スロットにUSB機器が接続されているときは、突起物となりますので注意してください。
- 故障の原因となりますのでUSBスロットに異物を入れないでください。

6.2 音楽再生をするときは

- USB 機器を接続すると、自動で音楽の再生が開始されます。
- USB機器を接続している状態で、[SRC]ボタンを押して他のモードからUSBモードに切り替えると、自動的に再生が始まります。(前回停止したところから再生が始まります。)

6.3 USB 機器を取外すときは

- ①[SRC] ボタンを押して USB モード以外のモードに切り替えます。
- ②USB スロットから USB 機器を取外します。
- ③USB スロットのカバーを閉じます。

₽ アドバイス

USB モード中に USB 機器を抜き取らないでください。データが破損する場合があります。

6.4 再生時のディスプレイ表示

再生時はトラック番号(例. TOO1),各曲の再生時間(例. O2:46),フォルダ番号(例. F32O),現在時刻を表示することができます。

● [DISP] ボタンを押して表示を切り替えます。

図 知識

音楽ファイルに記録されている楽曲名,アーティスト名,アルバム名などの情報を本機では表示することができません。

6.5 基本的な操作

曲を選ぶとき

[I◀], [▶N]ボタンを押します。

[▶]: 次の曲を選ぶ [№]: 前の曲を選ぶ

● 早送り、早戻しをするとき

[◄]. [▶1]ボタンを長押しします。

[►・]: 早送り [►・]: 早戻し

● フォルダーを切り替えるとき

複数のフォルダーに音楽ファイルが振り分けられている場合、再生したい音楽ファイルが属するフォルダーを選んで再生することができます。

[1], [2] ボタンのいずれかを押し、フォルダーを切り替えます。

フォルダー切り替えするとすぐにトラック番号1 (TOO1) から再生を開始します。

- [3] ボタンを押します。
- [3] ボタンを 1 回押すごとにリピート再生モードが切り替わります。

モードの切り替わり

RPT ONE -> RPT FOLDER -> RPT ALL

RPT ONE:

再生中の曲(トラック)だけを繰り返し再生します。

RPT FOI DFR:

再生中の曲が属しているフォルダーに含まれる曲を順に繰り返し再生します。

RPT ALL:

USB 機器内の全ての楽曲を繰り返し再生します。

6.7 ランダム > 再生するとき

- [4] ボタンを押します。
- [4] ボタンを 1 回押すごとにランダム再生モードが切り替わります。

モードの切り替わり

RDM FOLDER -> RDM ALL -> RDM OFF

RDM FOLDER:

再生中の曲が属しているフォルダーに含まれる曲をランダムに再生します。

RDM ALL:

USB 機器内の全ての楽曲をランダムに再生します。

RDM OFF:

ランダム再生を解除します。

6.8 USB内のトラックをスキャン(SCN) するとき

USB 内のすべてのトラックの先頭 10 秒間ずつを順次再生します。

- 音楽ファイル再生中に [5] ボタンを押します。画面に SCAN ALL が表示されスキャンを 開始します。
- スキャン中に[5]ボタンを押すとSCAN OFFを表示してスキャンを中止しその位置から 再生を行います。

6.9 再生がはじまらないときは

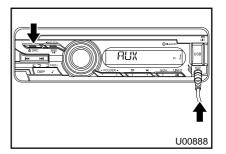
USB 機器のオーディオファイルを聞いているときに表示部にエラーメッセージを表示したときは次の原因が考えられます。

表示	原因	処置
USB DEVICE	プロトコルやファイルシス	正しいプロトコルやファイルシステ
(ERROR)	テムが正しくないとき	ムでUSBを書き換えてください
NO FILES	MP3/WMAファイルが保	そのデバイスにMP3/WMAファイ
	存されていないとき	ルを保存してください
NO DEVICE	USB機器が接続されてい	他のサポートされた機器を接続して
	ない、又は認識されない	ください

7. AUX 入力を使うとき

AUX 入力端子に市販のポータブルオーディオなどを接続して音楽を聞くことができます。

- [SRC] ボタンを押して AUX に切り替えます。
- ●接続には市販の 3.5mm ステレオミニプラグ コードを使用してください。
- 音楽再生の操作は接続した機器側で行います。



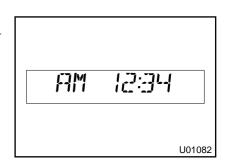
₽ アドバイス

- プラグが接続されているときは、突起物となりますので注意してください。
- 故障の原因となりますのでAUX入力端子に異物を入れないでください。

8. 時計を使うとき

8.1 時計表示に切り替えるとき

● [DISP] ボタンを押し、時刻を表示します。 (モードによっては、[DISP] ボタンを数回押す 必要があります。)



8.2 時刻を合わせるとき

- ①時計表示時に、[DISP] ボタンを長押しして、SET CLOCK を画面に表示させます。
- ②[ロータリーノブ]を押します。
- ③[◄], [▶1]ボタンを押して, 時または分を選びます。

[**▶**]: 分 [**◄**]: 時

- ④[ロータリーノブ]を回して、時刻を合わせます。
- ⑤時刻合わせが完了したら, [ロータリーノブ]を押します。

9. アラームを使うとき

あらかじめ設定した時刻にブザーを鳴らすことができます。

知知 知識

- アラームは最長約3分間鳴ります。
- アラームを解除しないと再度その時刻にアラームがなります。

9.1 アラーム時刻を設定するとき

- ①時計表示画面にて [DISP] ボタンを長押しします。
- ②[ロータリーノブ]を回して、SET ALARMを画面に表示させ、[ロータリーノブ]を押します。
- ③[ロータリーノブ]を回し、ONを表示させ[ロータリーノブ]を押します。
- ④アラーム時刻を設定します。点滅している時刻を[ロータリーノブ]を回して調整します。 点滅を移動するには、[I◀] [▶I] ボタンを押して切り替えます。
- ⑤アラーム時刻を決定するために, [ロータリーノブ]を押します。
- ⑥[DISP] ボタンを2回押して、元の画面に戻ります。

9.2 アラームを消すとき

いずれかの操作ボタンを押すとアラームが消えます。

9.3 アラームを解除するとき

- ①時計表示画面にて [DISP] ボタンを長押しします。
- ②[ロータリーノブ]を回して、SET ALARMを画面に表示させ、[ロータリーノブ]を押します。
- ③[ロータリーノブ]を回し、OFF を表示させます。アラーム表示が消えます。
- ④[DISP] ボタンを2回押して、元の画面に戻ります。

10.Bluetooth®をつかう準備をする

● Bluetooth® 対応機器を利用すると

携帯電話などの Bluetooth® 対応機器を登録して本機から音楽の再生や電話の発着信ができます。

接続可能な機器の情報についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

● Bluetooth® (ブルートゥース) とは

Bluetooth®とは携帯情報機器向けの単距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用して Bluetooth® 対応機器どうしで通信を行います。

本機ではBluetooth®に対応したオーディオ機器および携帯電話を接続して利用できます。 Bluetooth®の各機能を使用するには下記プロファイルに対応した機器が必要となります。

- オーディオ A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
- ハンズフリー通話 HFP (Hands-Free Profile)
- Bluetooth® 機器の取扱いについて

Bluetooth®機器を使用される前にお読みください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造 ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局(免許を要する無線局) および特定小電 カ無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用され ています。

- この機能を使用する前に近くで移動体識別用構内無線局および特定小電力無線局,アマ チュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には速やかに使用場所を移動するかまたは電波の発信を停止し電波干渉を避けてください。

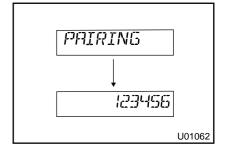
10.1 Bluetooth® 対応機器を登録するとき(ペアリング)

- はじめて Bluetooth® 対応機器を利用するときは、本機に登録(ペアリング) する必要があります。
- 登録のための操作は Bluetooth® 対応機器(機器)側から行います。詳しくは Bluetooth® 対応機器側の取扱説明書を確認ください。

図 知識

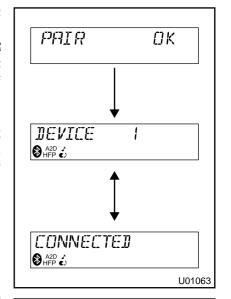
- 本機からペアリング機器を検索してペアリングをすることはできません。
- 登録できる機器は、最大5台です。

- ①本機の電源を入れます。(モードの選択は必要ありません。)
- ②機器のペアリング機能により登録可能な候補を 検索します。
- ③機器の画面に表示された候補から "Bluetooth_Audio"を選択します。
- 本機のディスプレイ表示部に PAIRING が表示 されます。続いて PIN CODE (ピン コード) が 表示されます。本機と機器側のピンコードが同 ーであることを確認します。



(Bluetooth®のバージョンが2. O以下の時は、ピンコードを機器側で入力します。ピンコードコードの確認、設定は、システム設定(アジャストモード)の PIN CODE で行うことができます。)

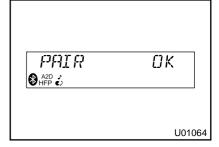
- ④機器側で「接続する」([YES] や [ペアリング] などと表示をする場合もあります)を選択します。
- ペアリングが成功すると本機の表示部に PAIR OK が表示された後、登録された機器名を表示 (機器名に日本語等がある場合、文字が"*"で表示) し、次に CONNECTED を表示します。 その後、元のモードに戻ります。
- ペアリングに失敗した時は本機にPAIR NGが2 秒間表示されペアリング操作開始前のモードに 戻ります。機器の取扱説書を確認の上ペアリン グ操作をやり直してください。



● Bluetooth® 接続中はディスプレイ表示部左下 に接続中であることを表示します。

A2D: オーディオ機器とペアリングが成功したときに表示

HFP: ハンズフリー機能を持つ携帯電話とペアリングが成功したとき表示



11.Bluetooth® オーディオをつかう

図 知識

- ◆本機では、音楽ファイルに記録されている曲名、アーティスト名、アルバム名などは表示することができません。
- お使いの機器によっては、一部サポートできない操作機能がありますので、その場合は機器側で操作してください。

11.1 再生するときは

[SRC] ボタンを押して、BT-AUDIO モードにすると再生が始まります。

11.2 再生の一時停止および一時停止を解除するときは

● [BND] ボタンを押すと一時停止となり, 再び [BND] ボタンを押すと一時停止が解除されます。一時停止中は、PAUSE が表示されます。

11.3 基本的な操作

● 曲を選ぶとき

[I◀], [►►I]ボタンを押します。

[▶I]: 次の曲を選ぶ [I◀]: 前の曲を選ぶ

● 早送り、早戻しをするとき

[I◀], [▶I]ボタンを長押しします。

[▶]: 早送り [★]: 早戻し

12.携帯電話を接続して通話する

⚠ 注意

携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など車室内が高温となり故障や火 災の原因となります。

携帯電話と本機をBluetooth®で接続します。接続中は図のようにシンボルが表示されます。

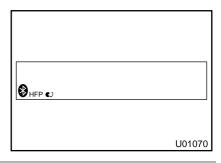
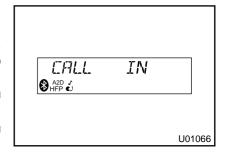


図 知識

ハンズフリー通話中に電源が OFF になっても、携帯電話本体で通話は継続されます。

12.1 電話を受けるとき

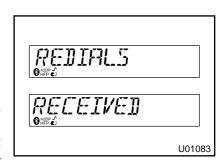
- 着信すると CALL IN を約2秒表示後,スピード ダイヤルの登録名,電話番号を表示します。 (スピードダイヤルの登録が無い場合は登録名 は表示されません。また発信者番号が非通知の 場合は UNKNOWN と表示されます。)
- 着信中に電話を受けるには [DISP] ボタンを押します。
- 着信中の通話を拒否するには [♪] ボタンを押します。
- システム設定(アジャストモード)でA-ANSWER を ON にしている場合は、約10秒 後に自動で電話を受信します。



122 電話をかけるとき

次の方法により電話をかけることができます。

- 携帯電話からの発信
 - 本機と携帯電話が接続状態のときに携帯電話から発信すると本機はBT-TEL の割込みモードになります。
- 発信、着信履歴による本機からの発信
- ①[SRC] ボタンを押し、BT-TEL を表示します。
- ②[BND] ボタンを押してから[I◀], [▶I]ボタンを押して表示部上に REDIALS (発信履歴) または RECEIVED (着信履歴) を表示させ [ロータリーノブ] を押します。
- ③[ロータリーノブ]を回して発信したい相手を選びます。スピードダイヤルに登録されていると相手の登録名を表示し、スピードダイヤルに登録されていない場合は相手の電話番号を表示します。



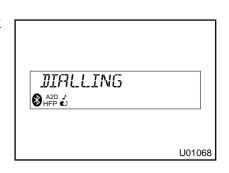
- ④発信したい番号を見つけたら「ロータリーノブ」を押して発信します。
- 発信中は表示部に DIALLING が表示されます。
- 発信せずに表示をもとに戻すには [DISP] ボタンを何度か押します。

図 知識

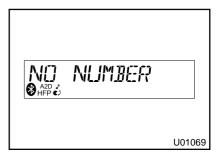
発信履歴, 着信履歴それぞれ 10 件まで表示することができます。

● スピードダイヤルからの発信 BT-TEL モードで [1] ~ [5] のボタンを押すとスピードダイヤルを実行します。ただし、 あらかじめスピードダイヤルへの登録が必要です。

登録済みのボタンを押したとき: 表示部に DIALLING が表示され発信します。



未登録のボタンを押したとき:表示部に NO NUMBER が表示されます。



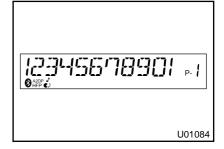
12.3 スピードダイヤルに登録する

● 発信、着信履歴から登録する

発信, 着信履歴を表示した状態で [1] \sim [5] いずれかのボタンを 2 秒押すと MEMORY が表示されスピードダイヤルに登録されます。

知 知識

- スピードダイヤルへの登録件数は携帯電話1台あたり5件です。
- 携帯電話5台分を登録できます。
- 登録できる情報は登録名と電話番号です。
- ●編集できるのは登録名のみです。電話番号は発信・着信履歴をもとに登録します。
- 登録名の入力は大文字アルファベットと数字を合わせて最大10文字が可能です。
- 登録名を編集する
- ①[BND] ボタンを押してから[◄], [▶]ボタンを押して、表示部に SSD ADJ を表示させます。
- ②[ロータリーノブ]を押します。 表示部に CONTACTS が表示されます。
- ③もう一度[ロータリーノブ]を押します。
- ④[ロータリーノブ]を回すと登録情報 P.1~P.5 を順に表示します。(表示部右端に登録番号 P.1~P.5を表示します。)



表示タイプは次の3通りです。

NO NUMBER: スピードダイヤルが登録されてない場合。ここでの編集はできません。

電話番号:登録名が登録されていない場合

登録名:電話番号と登録名が登録されている場合

- ⑤編集したい登録情報を表示させ、[ロータリーノブ]を押します。 登録名が表示されていた場合はもう一度[ロータリーノブ]を押します。 表示部に EDIT NAME が表示されます。
- ⑥[ロータリーノブ]を押します。 登録名の編集画面が表示されます。
- ⑦登録名を入力します。
- [◄], [▶]によりカーソルを入力したい位置まで移動させます。
- [ロータリーノブ]を回して入力する文字・数字を選択します。
- 入力したい文字が表示されたらカーソルを移動させ次の入力に移ります。
- 登録名の入力が終わったら [ロータリーノブ] を押します。
- MEMORY が表示されたら登録名の登録完了です。MEMORY を2秒表示後に④に戻ります。

- 登録情報の削除(ボタン1つ分)
- ① EDIT NAME を表示させ [ロータリーノブ] を回します。CLEAR が表示されます。
- ②[ロータリーノブ]を押します。ARE U SURE が表示されます。

削除を実行する場合: [ロータリーノブ]を押します。削除完了を意味する CLEARED が表示された後、NO NUMBER が表示されます。

キャンセルする場合: [ロータリーノブ] を回し CANCEL を表示させます。 [ロータリーノブ] を押すと削除をキャンセルし CLEAR の表示に戻ります。

- 登録済みの情報を一括削除する(ボタン5つ分)
- ①[BND] ボタンを押してから[I◀], [▶I]ボタンにより, 表示部に SSD ADJ を表示させます。
- ②[ロータリーノブ]を回します。表示部に CLEAR ALL が表示されます。
- ③もう一度[ロータリーノブ]を押します。表示部に ARE U SURE が表示されます。 一括削除の実行:[ロータリーノブ]を押します。一括削除完了を意味する CLEARED が表示された後 SSD ADJ に戻ります。

削除のキャンセル: [ロータリーノブ] を回し CANCEL を表示させてから [ロータリーノブ] を押します。削除はキャンセルされ CLEAR ALL に戻ります。

12.4 通話中のミュート機能

- 通話中にミュート状態にするためには [ロータリーノブ] を押します。
- ミュートを解除するためにはもう一度 [ロータリーノブ]を押します。

12.5 通話中の表示部の切り替え

- 通話中に [DISP] ボタンを押すと表示を切り替えます。
- 表示できる情報は、通話時間、通話相手の電話番号、スピードダイヤル登録した登録名です。

12.6 通話切替(秘話モード)での使用

- [BND]ボタンを押すことで一時的にハンズフリー通話から携帯電話での通話(秘話状態) に切り替える機能です。
- ハンズフリー状態に戻るときは再度 [BND] ボタンを押します。
- 秘話状態で通話を終了しても、次回の着信、発信時はハンズフリー状態に戻ります。(使用する携帯電話の仕様により発信時は秘話状態を継続する場合もあります。)
- 秘話状態でもモード割り込み状態は維持されます。

13.システム設定を行うには(アジャストモード)

● 設定項目の選択

[♪]ボタンを長押しします。

[◄], [▶Ⅰ]ボタンを押して設定する項目を選択します。

画面表示	設定項目	設定方法
AUTO STORE	ラジオのプリ セットメモリの 自動登録	[ロータリーノブ]を長押しします。自動的に 受信感度の良い放送局が[1]~[5]のボタン に登録されていきます。
DX / LO	受信感度の切り 替え	[ロータリーノブ]を左右に回して、DX または LOCAL を選択します。 DX:電波の強弱に関係なく放送局を受信します。 LOCAL:電波の強い放送局のみ受信します。
(AUX SENS)	AUXの入力レ	[ロータリーノブ]を左右に回して、HIGH /
(AUXモードで表示)	ベルの設定	LOW/ MIDを選択します。
BT SELECT	ペアリングした Bluetooth [®] 機 器の選択	[ロータリーノブ]を左右に回し機器を選択 し,[ロータリーノブ]を押し決定します。
BT DELETE	ペアリングした Bluetooth [®] 機 器の登録削除	① [ロータリーノブ] を左右に回し機器を表示します。 ② [ロータリーノブ] を押し, ARE U SUREを表示します。 ③ [ロータリーノブ] を押し、削除します。 (②の手順で [ロータリーノブ] を回して CANCEL を表示し、③の手順でこの設定を中止することができます。)
BT DISCON	ペアリングした Bluetooth [®] 機 器を解除	 ①[ロータリーノブ]を押し機器名を表示します。 ②[ロータリーノブ]を押し, ARE U SUREを表示します。 ③[ロータリーノブ]を押し解除します。 (②の手順で[ロータリーノブ]を回してCANCELを表示し、③の手順でこの設定を中止することができます。)
A-ANSWER	電話の着信の自 動応答	[ロータリーノブ]を左右に回して,ON / OFFを選択します。

画面表示	設定項目	設定方法
PIN CODE	本機のPINコー ドの変更	① [ロータリーノブ] を押しPINコードを表示します。 ② [►・]で変更したい桁を選択し、[ロータリーノブ] を回し数字を選択します。 ③ [ロータリーノブ] を長押しすると MEMORY と表示されコードが設定されます。
DIMMER	ディスプレイ照明の設定	[ロータリーノブ]を左右に回して,ON / OFFを選択します。 ON : 車両のライトスイッチに連動して照明 を減光 OFF: 非連動
BEEP	ビープ音の設定	[ロータリーノブ]を左右に回して,ON / OFFを選択します。
EQ SELECT	音質の調整方法の設定	[ロータリーノブ]を左右に回して,G-EQ, BASS/TREBLEを選択します。 G-EQ:グラフィックイコライザーによる調 整 BASS/TREBLE:低音,高音により調整
SPEAKER	スピーカーの出力の設定	[ロータリーノブ]を左右に回してSP 2CH/SP 4CHを選択します。 SP 2CH:スピーカー出力は2CH SP 4CH:スピーカー出力は4CH
RESET	設定を工場出荷状態にする	① [ロータリーノブ] を押し, ARE U SURE を表示します。 ② [ロータリーノブ] を押すとCLEAREDが表示され, リセットが完了します。 (①の手順で[ロータリーノブ]を回して CANCELを表示し,②.の手順でこの設定を中止することができます。)